

## シギ

### **Gray-tailed tattler / *Heteroscelus brevipes* / Kiashi-shigi / キアシシギ**

渡り鳥でシギ科の仲間のキアシシギは、繁殖地のシベリアから奄美大島へやってくる。春から秋は、大瀬海岸に集まる姿が視ることができる。アジアやオーストラリアなど南部で冬を過ごすものもいれば、ここで越冬するものもいる。成鳥は灰褐色の体を持ち、体長は 24～27cm で、頭部は灰色、眉毛は白である。繁殖期には胸と腹に黒のまだら模様があるが、冬には薄くなる。黄色い脚は他のシギ類より足が短く、名前の由来にもなっている。

### **Black-winged stilt / *Himantopus himantopus* / Seitaka-shigi セイタカシギ**

背が高く、細身の渡り鳥であるセイタカシギは、体が主に白く、英名の由来にもなっている黒い翼と淡い灰色の尾をもつ。くちばしは長く、黒い針状で、沿岸の湿原や岩礁域で餌を探すのに適している。目は濃い赤で、長い脚は赤みがかかったオレンジである。セイタカシギは主に水面に生息する水生昆虫を食すが、甲殻類も食べる。社交的な鳥で、通常は小さな群れで行動し、奄美大島で越冬しないものはオーストラリアや東南アジアへ渡る。